

ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド (為替ヘッジ付き)

追加型投信 / 海外 / 債券

毎月が楽しみな高利回り債券ファンド
為替ヘッジなし、為替ヘッジ付き。2つのファンドをご用意しました。

Investment Grade High Yield

■三菱UFJ銀行からのご留意事項

◎投資信託は、預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。 ◎投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、価格変動リスク等があり、お受取金額が投資元本を大きく下回ることがあります。したがって投資元本および運用成果が保証されているものではありません。 ◎ご購入に際しては、購入時手数料(ご購入代金に応じて、最高2.16%*(税込))および保有期間中の運用管理費用(信託報酬)等の費用がかかります。 ※消費税率が10%となった場合は、2.2%となります。 ◎ご購入に際しては、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」により商品内容を必ずご確認くださいの上、ご自身でご判断ください。

ご購入の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。投資信託説明書(交付目論見書)は、三菱UFJ銀行の本・支店までご請求ください。

■お申込み・販売会社は



三菱UFJ銀行

株式会社三菱UFJ銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号
加入協会：日本証券業協会 / 一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

当行の苦情処理措置および紛争解決措置は
一般社団法人全国銀行協会または特定非営利活動法人証券
金融商品あつせん相談センターを利用します。
全国銀行協会相談室:0570-017109 / 03-5252-3772
証券・金融商品あつせん相談センター:0120-64-5005
受付時間:月～金曜日/9:00～17:00(祝日・12/31～1/3等を除く)

■設定・運用は



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

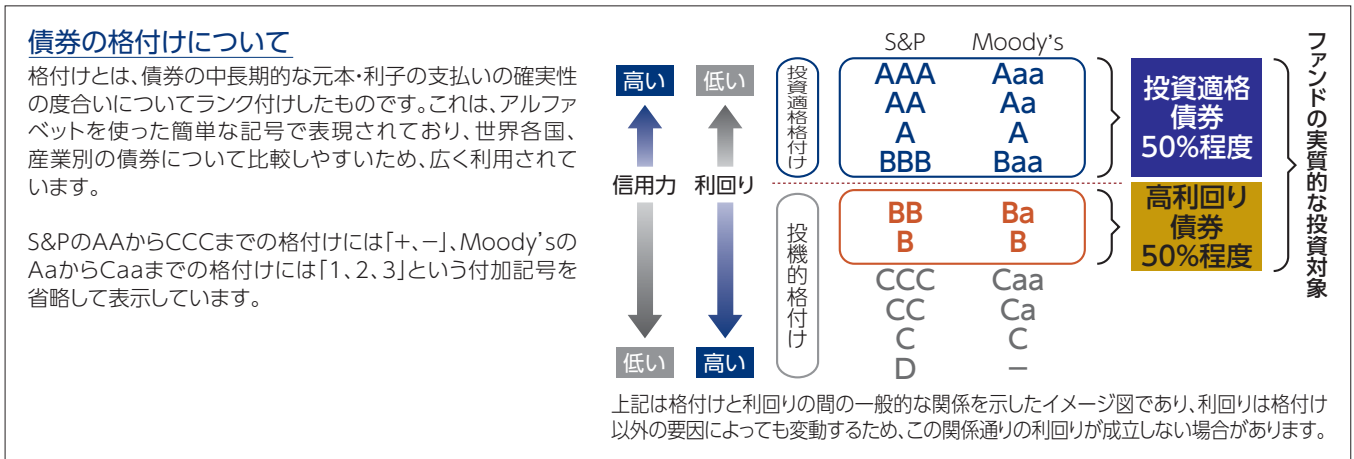
ともに、その先へ。

1 高い利子収入の獲得をめざして、日本を除く※1世界の高利回り債券および投資適格債券に50%程度ずつ実質的に投資します。

※1 日本の発行体が発行する円建て以外の債券に投資することがあります。

- 各債券への実質的な投資は、2本の円建外国投資信託への投資を通じてそれぞれ行います。(ファンド・オブ・ファンズ方式)

高利回り債券とは… 高利回り債券とは、格付会社(S&P、Moody'sなど)によりBB格相当以下の低い格付けを付与された債券をいいます。一般的に高利回り債券は、投資適格債券(BBB格相当以上)と比較して、債券の元本や利子の支払いが滞ることや、支払われなくなるリスクが高いため、通常、その見返りとして投資適格債券よりも高い利回りを投資家に提供しています。つまり、高利回り債券は、主として社債を中心とした低格付けの発行体が発行する債券で、信用力が低い反面、高い利回りが期待できる債券です。



2 為替変動リスクの異なる2ファンドからお選びいただけます。

- ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンドは、実質的な組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。
- ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド(為替ヘッジ付き)は、実質的な組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行います。

<スイッチングについて>

- ・ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンドと、ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド(為替ヘッジ付き)の間で、スイッチング(乗換)が可能です。
- ・スイッチングの際は、換金するファンドに対して信託財産留保額および税金がかかります。
- ・販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

3 グローバル債券運用で実績のあるピムコが運用を担当します。

- 三菱UFJ国際投信は、運用の指図に関する権限をピムコジャパンリミテッドに委託します。
- ピムコジャパンリミテッドは、ピムコが運用する各2本の円建外国投資信託を通じて日本を除く世界の高利回り債券および投資適格債券に投資します。

運用の指図に関する権限の委託を受ける者、委託の内容、委託の有無等については、変更する場合があります。

4 毎月の安定分配をめざします。

- 毎月15日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、利子収入等を中心に、経費等を勘案して安定分配を行うことをめざします。
- ベンチマーク※2の最終利回り(為替ヘッジ付きは為替ヘッジコスト考慮後のベンチマークの最終利回り)を基準とした分配をめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※2 ベンチマークとは、ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標です。くわしくは、<ファンドのベンチマークについて>をご覧ください。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

ファンドのリスクについては、「投資リスク」をご参照ください。



ポイント

1 世界の高利回り債券と投資適格債券へ投資



ポイント

2 利回り期待



ポイント

3 グローバル債券運用で実績のあるピムコが運用

<ファンドのベンチマークについて>

両ファンドが投資する各2本の外国投資信託のベンチマークおよびそれらを合成したファンド全体のベンチマークは下表の通りです。

	投資適格債券運用を行う 外国投資信託	高利回り債券運用を行う 外国投資信託
ピムコ ハイ・インカム 毎月分配型ファンド	ブルームバーグ・ バークレイズ・ グローバル総合 (日本円除く)インデックス (円ベース)	ICE BofAML 先進国ハイ・イールド・ コンストレインド指数 (BB-B、円ベース)
ピムコ ハイ・インカム 毎月分配型ファンド (為替ヘッジ付き)	ブルームバーグ・ バークレイズ・ グローバル総合 (日本円除く)インデックス (円ヘッジベース)	ICE BofAML 先進国ハイ・イールド・ コンストレインド指数 (BB-B、円ヘッジベース)

ファンド全体では、高利回り債券運用を行う外国投資信託と投資適格債券運用を行う外国投資信託にそれぞれ50%程度ずつ投資します。

■各指数については、【本資料で使用している指数について】をご覧ください。

“円ベース”とは円換算してインデックスを算出することを意味しており、インデックスの値動きは為替相場の変動の影響を直接的に受けます。

“円ヘッジベース”では、インデックスの値動きが受ける為替相場の変動の影響は極小化されますが、為替ヘッジコストが勘案されます。

<ファンドの実質的な主要投資対象等>

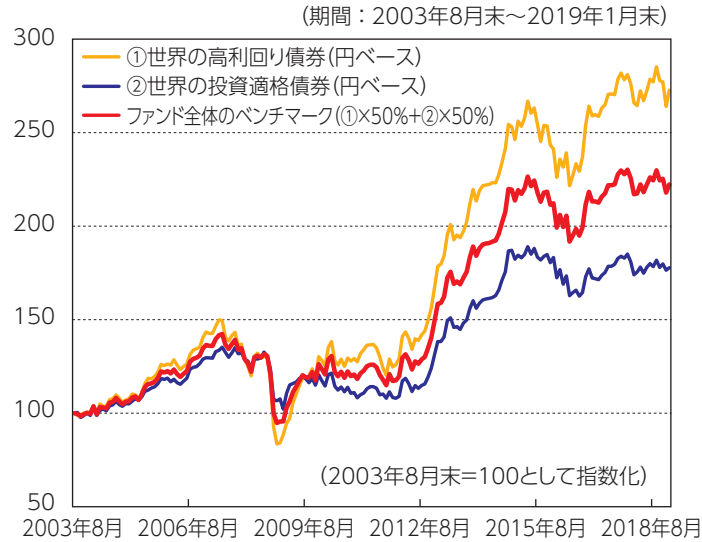
- 高利回り債券は、日本を除く世界各国の社債等を実質的な主要投資対象とします。
- 投資適格債券は、日本を除く世界各国の国債、政府機関債、社債、モーゲージ証券(MBS)、資産担保証券(ABS)等を実質的な主要投資対象とします。
- 実質的に投資する債券は、原則として購入時において、高利回り債券はB-格相当以上の、投資適格債券はBBB-格相当以上の格付けを取得しているものに限定します。組入債券の平均格付けは、ファンド全体で原則としてBBB-格相当以上を維持します。
- 同一の発行体が発行する銘柄への投資比率は、原則として、ファンド全体の純資産総額の1.5%程度を上限とします(国債や政府機関債等を除きます)。

ポイント1 世界の高利回り債券と投資適格債券へ投資

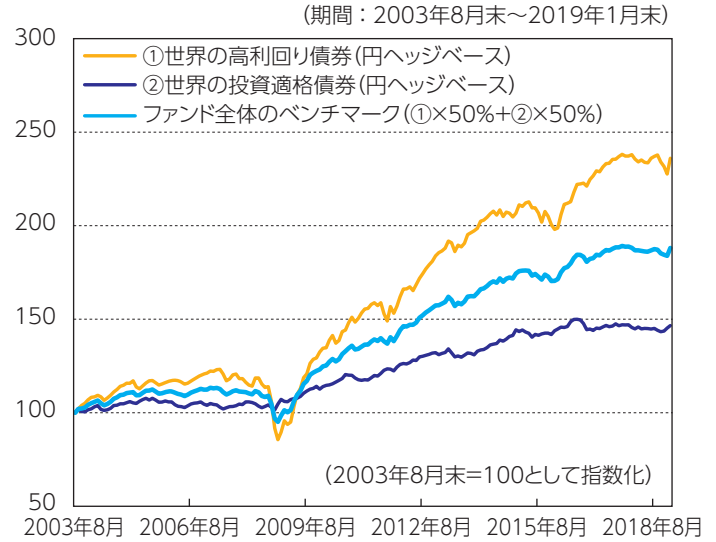
投資対象資産およびベンチマークの累積リターン推移

ファンドは世界の高利回り債券と投資適格債券に、それぞれ50%ずつ実質的な投資を行います。

<為替ヘッジなし>



<為替ヘッジあり>



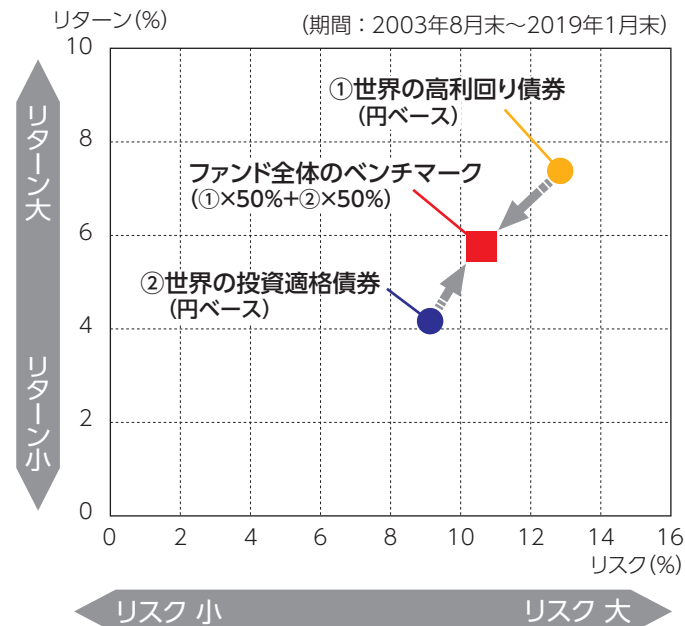
(出所) Bloomberg, ICE Data Indices, LLCのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

投資対象資産およびベンチマークのリスク・リターン

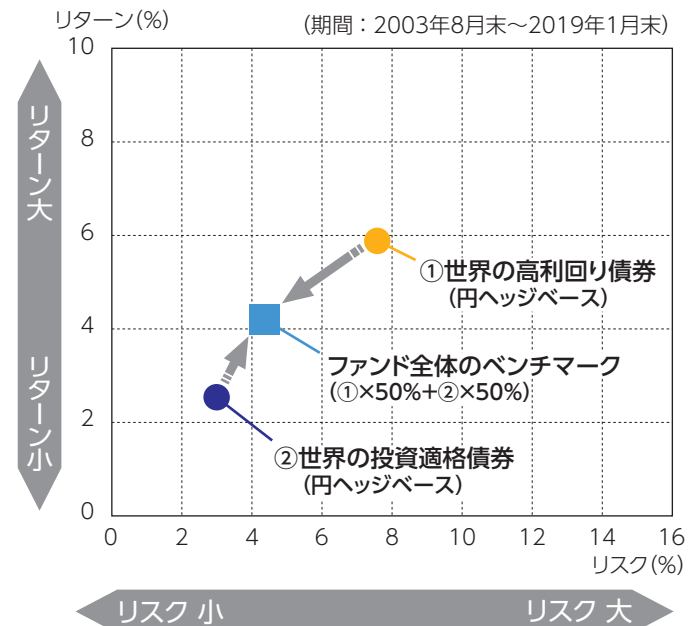
値動きの異なる債券に50%ずつ投資を行うことで、分散効果が期待できます。

さらに、為替ヘッジを行うことで、為替リスクの低減が図れます。(為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨建の金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。)

<為替ヘッジなし>



<為替ヘッジあり>



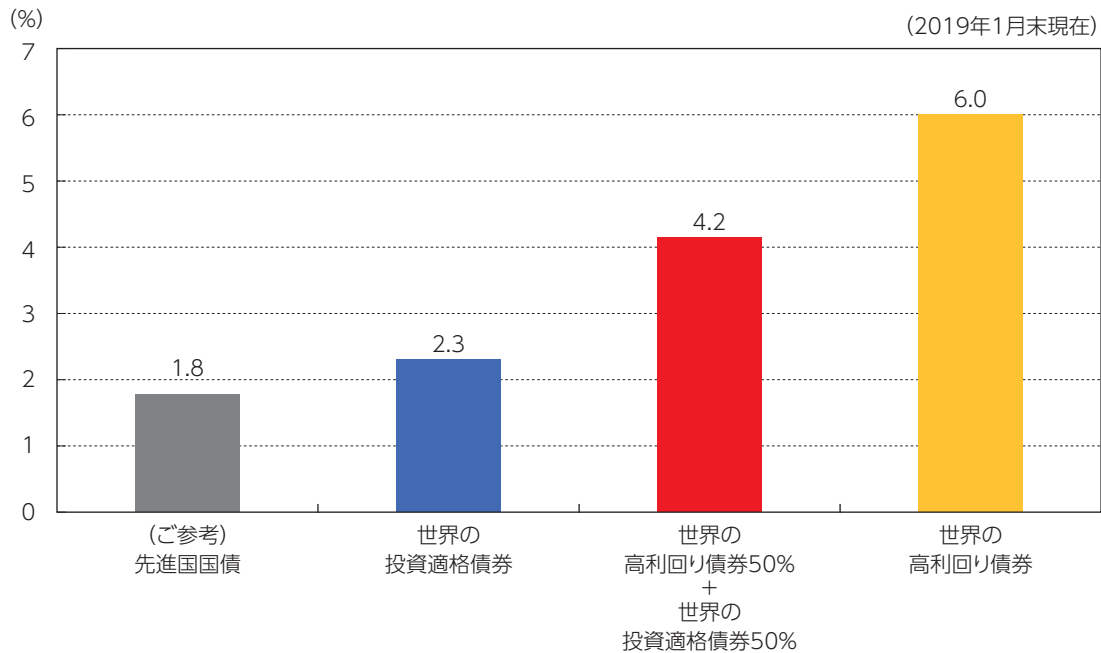
- ・リスクとは、リターン(収益)のブレ(変動)の大きさのことです。
- ・リターンは月次騰落率の平均を、リスクは月次騰落率の標準偏差をそれぞれ年率換算したものです。

(出所) Bloomberg, ICE Data Indices, LLCのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

- 上記は指数を使用しており、ファンドの運用実績を示すものではありません。指数については、【本資料で使用している指数について】をご覧ください。
- 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

各債券の利回り

高利回り債券と投資適格債券を50:50で組み合わせた場合の利回りは、先進国国債と比較して相対的に高くなっています。

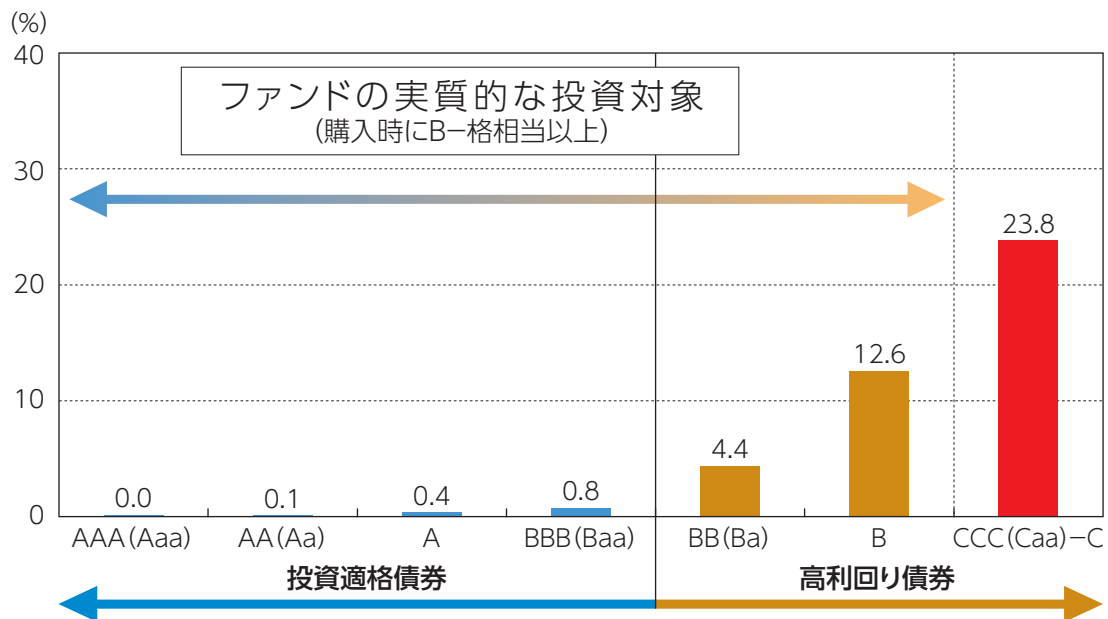


- ・ 上記は指数を使用しており、ファンドの運用実績を示すものではありません。指数については、【本資料で使用している指数について】をご覧ください。
- ・ 各資産は為替やその他の特性を考慮しておらず、利回りだけで単純に比較できるものではありません。

(出所) Bloomberg, ICE Data Indices, LLCのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

債券の格付け別デフォルト率

投資適格債券と高利回り債券ではデフォルト率に大きな格差が認められます。また、高利回り債券の中でもデフォルト率に格差があり、CCC-C格では約24%の債券がデフォルトしているのに対し、ファンドの実質的な投資対象であるBB格では約4%、B格では約13%にとどまっています。



(出所) Moody's「Annual default study: Defaults will rise modestly in 2019 amid higher volatility (2019年2月1日)」のデータを基に三菱UFJ国際投信作成

デフォルト(債務不履行)から3年前の格付けにもとづく。(期間は1983年から2018年)
 なお、グラフ横軸()内の格付けは、Moody'sの格付けを表示しています。

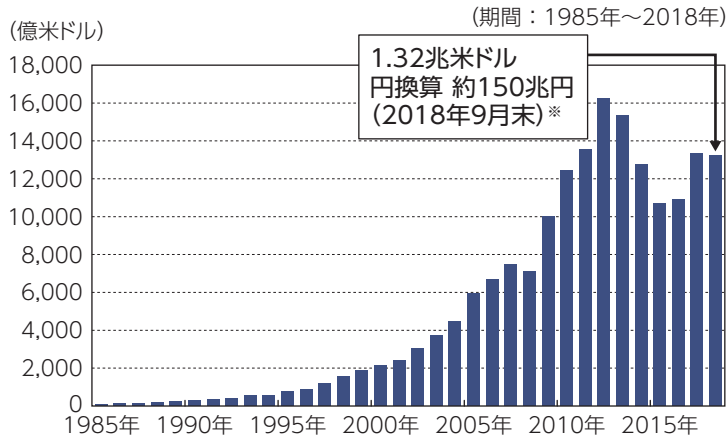
■ 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

ピムコについて

ピムコ(PIMCO=Pacific Investment Management Company LLC)は1971年に米国で設立された債券運用に強みを持つ会社です。

ピムコジャパンリミテッドは、PIMCOグループの日本における拠点です。

<ピムコ運用総資産残高の推移>



*各年末現在、為替はWMロイターレート1米ドル=113.59円で換算しています。

・アリアンツ・グループの関係会社からの受託残高を含みません。

<ピムコの債券運用に対する外部からの評価>



“Fixed-Income Fund Manager of the Year”

2012年、2013年、2015年 最優秀債券マネージャー賞
米国モーニングスター

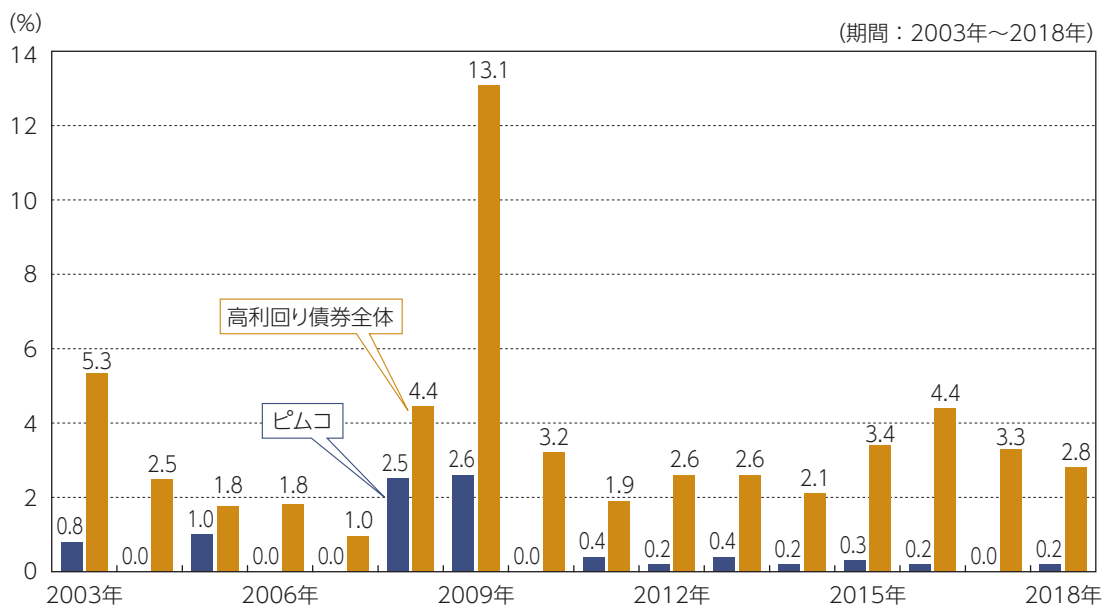
The Morningstar Fixed-Income Fund Manager of the Year award (Jerome Schneider and Team for PIMCO Short Term (2015); Dan Ivascyn and Alfred Murata, PIMCO Income (2013); Mark Kiesel, PIMCO Investment Grade Corporate Bond (2012); U.S.) is based on the strength of the manager, performance, strategy, and firm's stewardship. Morningstar Awards 2015©. Morningstar, Inc. All Rights Reserved. Awarded to Jerome Schneider and Team for U.S. Fixed-Income Fund Manager of the Year.

- ・個別の商品への言及は当該商品の推奨や勧誘を意図するものではありません。
- ・上記は評価機関による、各受賞年の年末を基準日とした評価です。当該評価は過去の一定期間の実績を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

(出所)ピムコの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

高利回り債券のデフォルト率とピムコ運用ファンドのデフォルト率

2003年から2018年までのピムコが運用するファンドのデフォルト率を見ると、高利回り債券全体のデフォルト率と比べて、相対的に低位で推移しています。



・ピムコ運用ファンドのデフォルト率は、作成時点のピムコのハイイールド戦略代表口座におけるデフォルト率であり、代表口座については変更になる可能性があります。

(出所)ピムコのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

米ドル・ユーロ(対円)の為替推移

ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンドは、原則として為替ヘッジを行いませんので為替相場の変動の影響を受けます。そのため、円安局面では為替差益が、円高局面では為替差損が発生します。

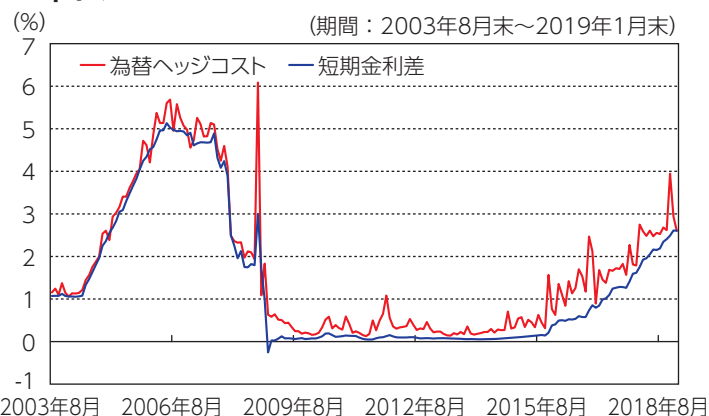


(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

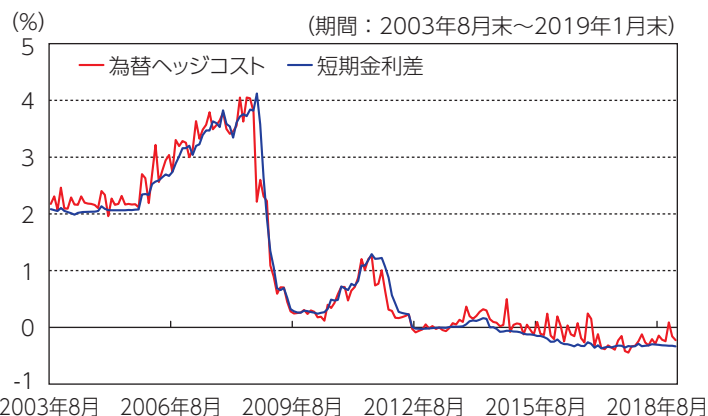
為替ヘッジコストの推移

ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド(為替ヘッジ付き)は、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替ヘッジにより為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨建の金利より低いときには、これらの金利差に基づくヘッジコストがかかります。なお、ヘッジコストは基準価額にマイナスの影響を与えます。為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。

<米ドル>



<ユーロ>



※短期金利差は、米国/ユーロ圏および日本の1ヵ月LIBORを用いて算出しています。

※為替ヘッジコストは、米ドル円およびユーロ円の直物レートと先物(1ヵ月)レートから三菱UFJ国際投信が算出したものであり、当ファンド(「為替ヘッジ付き」)にかかる実際のヘッジコストとは異なります。

(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

■上記はファンドの通貨別組入比率上位の米ドル・ユーロにつき示したものであり、実際のファンドの組入比率を示唆・保証するものではありません。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

【本資料で使用している指数について】

■世界の高利回り債券【ICE BofAML 先進国ハイ・イールド・コンストレインド指数(BB-B)】

ICE BofAML 先進国ハイ・イールド・コンストレインド指数(BB-B)とは、ICE Data Indices, LLCが算出する主な先進国のハイ・イールド債券の値動きを表す指数です。同指数は、ICE Data Indices, LLC、ICE Dataまたはその第三者の財産であり、三菱UFJ国際投信は許諾に基づき使用しています。ICE Dataおよびその第三者は、使用に関して一切の責任を負いません。

■世界の投資適格債券【ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合(日本円除く)インデックス】

ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合(日本円除く)インデックスとは、ブルームバーグが算出する世界の投資適格債券(円建てのものを除く)の値動きを表す指数です。ブルームバーグ(BLOOMBERG)は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー(Bloomberg Finance L.P.)の商標およびサービスマークです。バークレイズ(BARCLAYS)は、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシー(Barclays Bank Plc)の商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックス(BLOOMBERG BARCLAYS INDICES)に対する一切の独占的権利を有しています。

■先進国国債【FTSE世界国債インデックス(除く日本)】

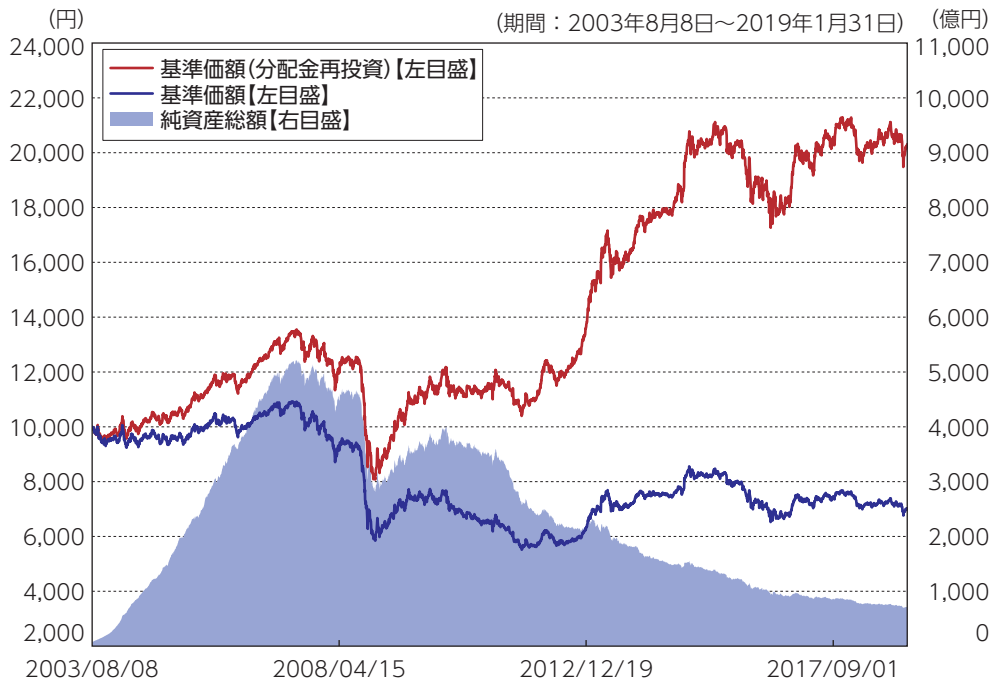
FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

基準価額および純資産総額の推移と分配金実績

(2019年1月31日現在)

<ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド>

基準価額および純資産総額の推移

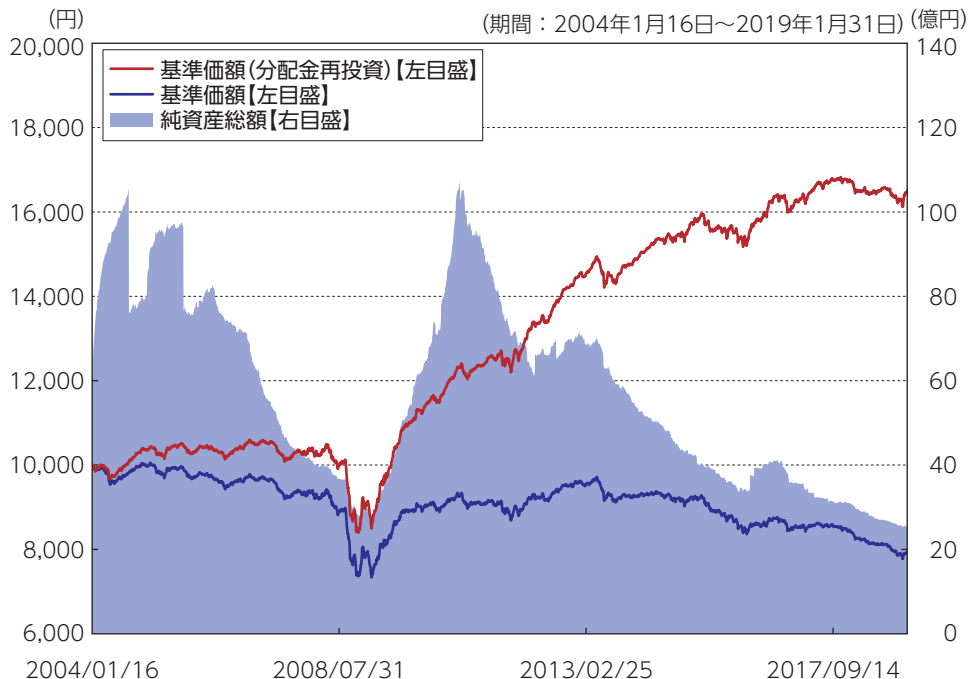


分配金実績(1万口当たり、税引前)

2019/01	20円
2018/12	20円
2018/11	20円
2018/10	20円
2018/09	20円
2018/08	20円
設定来累計	8,193円

<ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド(為替ヘッジ付き)>

基準価額および純資産総額の推移



分配金実績(1万口当たり、税引前)

2019/01	30円
2018/12	30円
2018/11	30円
2018/10	30円
2018/09	30円
2018/08	30円
設定来累計	6,570円

■基準価額(1万口当たり)、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。

■信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。

■基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

■運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

■上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

債券の組入状況等

(2019年1月31日現在)

<ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド>

債券の格付け分布

格付け種類	比率
AAA格	20.6%
AA格	6.3%
A格	6.2%
BBB格	19.2%
BB格	27.3%
B格	18.1%
CCC格以下	2.1%
コールローン他	0.2%

通貨別組入比率

通貨	比率
1 米ドル	66.0%
2 ユーロ	24.8%
3 英ポンド	5.0%
4 カナダドル	1.9%
5 その他	2.2%

ポートフォリオ特性

最終利回り	4.2%
-------	------

<ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド(為替ヘッジ付き)>

債券の格付け分布

格付け種類	比率
AAA格	20.8%
AA格	6.4%
A格	6.4%
BBB格	19.4%
BB格	26.3%
B格	17.4%
CCC格以下	2.1%
コールローン他	1.2%

ポートフォリオ特性

最終利回り	
最終利回り(A)	4.2%
為替ヘッジコスト試算値(B)	1.8%
為替ヘッジコスト 考慮後の最終利回り(A-B)	2.4%

ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド(為替ヘッジ付き)は、原則として為替ヘッジを行い(実際の為替ヘッジは投資する外国投資信託において行います)、為替相場の変動が直接的にファンドの基準価額に与える影響を低減することをめざします。

- 債券の格付け分布は、実質的な投資を行う外国投資信託の月末の格付け分布に、各外国投資信託への配分比率を考慮して算出。S&P、Moody'sのうち最も高い格付けを表示しています。上記2社の格付けを取得していない場合は、Fitchまたはピムコによる独自の格付けを表示しています。なお、付加記号(+、-等)を省略して集計し、S&Pの格付け記号に基づき表示しています。
- 先物取引、スワップ取引、オプション取引を考慮して算出しているため、取引内容によってはマイナスの値が表示されることがあります。
- 通貨別組入比率は、実質的な投資を行う外国投資信託の月末の通貨別組入比率に、各外国投資信託への配分比率を考慮して算出。(コールローン他はその他に含まれる。)
- 最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- 各ファンドの最終利回りは、実質的な投資を行う外国投資信託の月末の特性値に、各外国投資信託への配分比率を考慮して算出。(コールローン他は考慮せず。)
- 為替ヘッジコスト試算値はベンチマークの通貨構成比率より算出した試算値であり、実際の為替ヘッジコストとは異なります。
- 四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- 原則として、比率は純資産総額に対する割合です。
- 上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託から分配金が支払われるイメージ

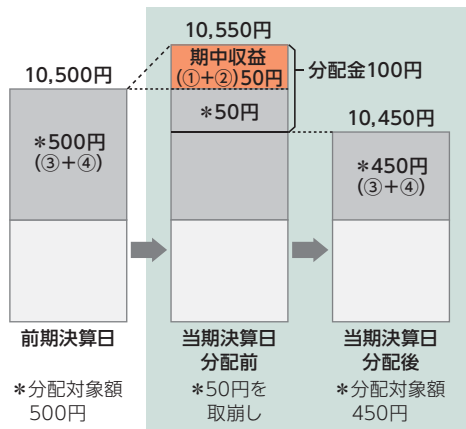


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

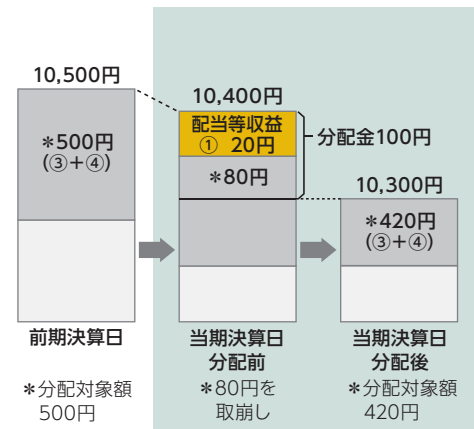
分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



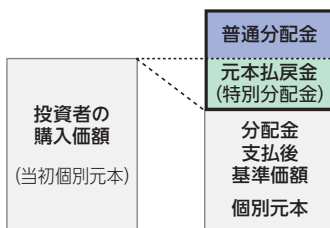
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金：当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金：追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

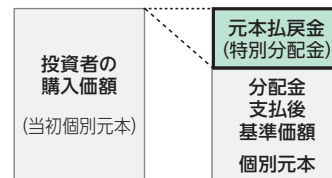
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体例は以下の通りです。販売会社によっては金額指定(購入時手数料を含む場合と含まない場合があります)、口数指定のいずれかのみのお取扱いになる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

[金額を指定して購入する場合] (購入時手数料を含む場合)

例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

[口数を指定して購入する場合]

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料=(10,000円÷1万口)×100万口×手数料率(税込)となり、100万円と購入時手数料の合計額をお支払いいただくこととなります。

投資リスク

■ 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動リスク

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

為替変動リスク

■ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

■ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド

(為替ヘッジ付き)

組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨建の金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。

信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

ファンドは、格付けの低いハイイールド債券を主要投資対象としており、格付けの高い公社債への投資を行う場合に比べ、価格変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

■ その他の留意点

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資対象ファンドにおいては、信用リスク管理上、政府機関の発行または保証する有価証券、およびそれらと同等と判断した銘柄^(※)について、同一発行体でファンドの純資産総額の10%を超えて保有する場合があります。

(※)には、米国の連邦住宅抵当公庫(ファニーメイ:FNMA)および連邦住宅抵当貸付公社(フレディ・マック:FHLMC)が発行または保証するモーゲージ証券等が該当します。

■ リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

また、定期的開催されるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。

なお、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

<投資対象ファンド(国内投資信託を除く)の信用リスク管理方法>

投資対象ファンドの管理会社および投資運用会社は、投資対象ファンドにおいて、欧州委員会が制定した指令(UCITS指令)に定めるリスク管理方法に基づき信用リスクを管理します。

ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド／ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド(為替ヘッジ付き)

ご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

※三菱UFJ銀行でお申込みの場合

お申込みメモ

購入時	購入単位 分配金再投資コース(累積投資コース):1万円以上1円単位 購入単位には購入時手数料(税込)が含まれます。 くわしくは、三菱UFJ銀行のホームページをご覧ください。
	購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。
換金時	換金単位 1円以上1円単位、または1口以上1口単位、または全部。
	換金価額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額
	換金代金 原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
申込について	申込不可日 次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行の休業日 ・ニューヨークにおける債券市場の取引停止日
	申込締切時間 原則として、午後3時までに受け付けたものを当日の申込分とします。
	換金制限 ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
	購入・換金申込受付の中止および取消し 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
その他	信託期間 ■ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド 無期限(2003年8月8日設定) ■ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド(為替ヘッジ付き) 無期限(2004年1月16日設定)
	繰上償還 各ファンドについて、受益権の口数が50億口を下回るようになった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。なお、投資対象とする外国投資信託が償還する場合には繰上償還となります。
	決算日 毎月15日(休業日の場合は翌営業日)
	収益分配 毎月の決算時に分配を行います。 ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少および基準価額の下落要因となります。 収益分配金は税金を差し引いた後、原則として再投資されます。 ※分配金を再投資せず、お客様の指定口座にご入金するお取扱いを希望される場合は、分配金出金(定期引出契約)をお申込みください。
	課税関係 課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人投資者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。
	スイッチング 各ファンド間でのスイッチングが可能です。手数料等は、「ファンドの費用」をご参照ください。なお、換金時の譲渡益に対して課税されます。

ファンドの費用

◎お客さまが直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入金額(購入価額×購入口数)×手数料率で得た額 手数料率は、購入代金(購入金額+購入時手数料(税込))に応じて以下の率とします。								
		<table><thead><tr><th>購入代金</th><th>手数料率</th></tr></thead><tbody><tr><td>1,000万円未満</td><td>2.16% (税抜 2%)</td></tr><tr><td>1,000万円以上1億円未満</td><td>1.62% (税抜 1.5%)</td></tr><tr><td>1億円以上5億円未満</td><td>1.08% (税抜 1%)</td></tr><tr><td>5億円以上</td><td>0.54% (税抜 0.5%)</td></tr></tbody></table>	購入代金	手数料率	1,000万円未満	2.16% (税抜 2%)	1,000万円以上1億円未満	1.62% (税抜 1.5%)	1億円以上5億円未満	1.08% (税抜 1%)
購入代金	手数料率									
1,000万円未満	2.16% (税抜 2%)									
1,000万円以上1億円未満	1.62% (税抜 1.5%)									
1億円以上5億円未満	1.08% (税抜 1%)									
5億円以上	0.54% (税抜 0.5%)									
		※消費税率が10%となった場合は、それぞれ、 2.2% (税抜 2%) 、 1.65% (税抜 1.5%) 、 1.1% (税抜 1%) 、 0.55% (税抜 0.5%) となります。								
		■スイッチングの場合 ありません。								
		※インターネット取引でご購入の場合は、上記手数料率から10%優遇。								
換金時	信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.3% をかけた額								

◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	運用管理費用(信託報酬)	日々の純資産総額に対して、 年率1.404% (税抜年率1.3%) をかけた額 ※消費税率が10%となった場合は、 年率1.43% (税抜年率1.3%) となります。 ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用(信託報酬)はかかりません。
	その他の費用・手数料	以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。 ・監査法人に支払われるファンドの監査費用 ・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 ・投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等 ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ・その他信託事務の処理にかかる諸費用等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。
		※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時にファンドから支払われます。
		※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

お客さま専用フリーダイヤル

0120-151034

(受付時間/営業日の9:00~17:00)

●ホームページアドレス <https://www.am.mufg.jp/>

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

販売会社(購入・換金の取扱い等)

株式会社三菱UFJ銀行 他

販売会社は、上記の三菱UFJ国際投信の照会先でご確認いただけます。

本資料に関してご留意いただきたい事項

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した販売用資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。